

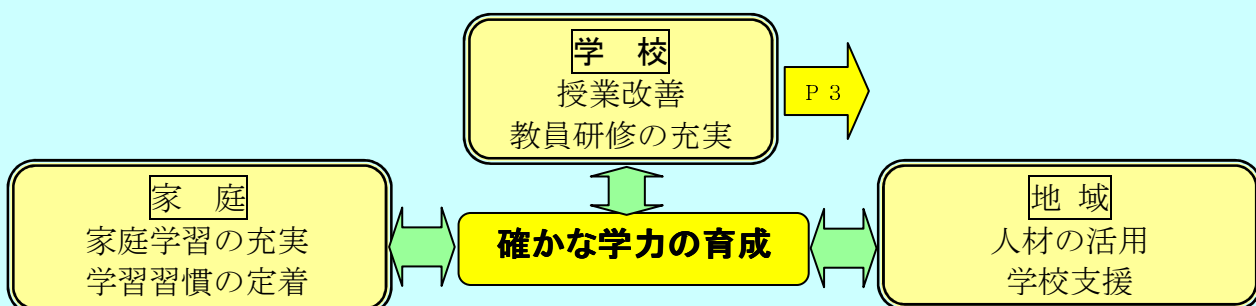
# かながわの 学びづくりプラン

「かながわ学びづくりリーフレット」の発行も今年で4回目となりました。この間、一環して、「学校・家庭・地域で育てよう子どもたち」をテーマに掲げ、学校では、「わかる授業」「学び合いを中心とした授業」づくりに努めることを、家庭では、「早寝・早起き・朝ごはん」や「あいさつ」などの望ましい生活習慣を身に付けることを、地域では、学校へのボランティア活動で子どもたちの学びの支援を、といったことを働きかけてきました。

こうした取組みによって、子どもたち一人ひとりに「生きる力」を育成し、確かな学力を身に付け、自己有用感が育まれていくことにつながるものと考えます。

今年度は、学びづくり推進地域の各学校での成果を紹介し、今後の教育活動の参考としていただきたいと考えました。

## かながわ学びづくり推進地域の成果



### 各推進地域では

#### 三浦市

学校研究の充実、小中連携、家庭との連携などの研究を推進しています。校種を超えての指導案作りに取り組み、授業の工夫改善を図っています。

#### 箱根町

「箱根ミニマム」とは

- 全ての学習を成立させる上で必須の基礎的な知識・技能
- 他の学習への波及効果が大きく期待されるもの

「心の教育」とは

- 学校版「おもてなしの心」を行動目標として実践する教育

#### 平塚市

##### テーマ

「小・中連携を生かした授業改善への取組」

##### 視点

- 9年間の子どもの育ちや学びを意識すること
- 小学校と中学校が合同研究に取り組むこと等、授業改善、校内研究の活性化と充実の研究を推進しています。

#### 清川村

清川村で育つ子どもたちのために次の5つのことを提唱しています。

- 1 子ども自身ができること
- 2 家庭ができること
- 3 学校ができること
- 4 地域ができること
- 5 大人が協力してできること

#### 大井町

道徳観の育成をめざすことなどを研究テーマに盛り込み、規範意識を育成し、人間関係を構築することからも授業改善に取り組んでいます。

# 授業改善を進めましょう！

一人ひとりが学ぶ喜び・学ぶ楽しさ  
を実感できる  
**分かる授業の実践をしましょう**



組織的な取組として  
共通理解を図り、  
**授業研究を活性化しましょう**

例えば

- 目標（身に付けさせたい力）の明確化と学習計画（見通し）の設定
- 指導方法の工夫
- 学習内容や子どもたちの実態に合った学習課題
- 適切な学習過程の設定 受信（聞く）→思考（考える）→発信（つなげる）
- 個に応じた学習形態の工夫（コの字型の机の配置・ペアやグループ学習）
- 学習活動の目的の明確化
- 学び合いができる学習活動の活性化
- 主体的に考えながら学習に取り組むための自己評価（振り返り）の活用

- ・考える時間や話し合いの時間をとっているか。
- ・話し合いが充実する手立てをとっているか。

学習過程の見えるワークシート等の工夫

# 言語活動の充実を図りましょう！

**「個」の学びを深める  
言語活動を**

**「個」が生きる学習環境**

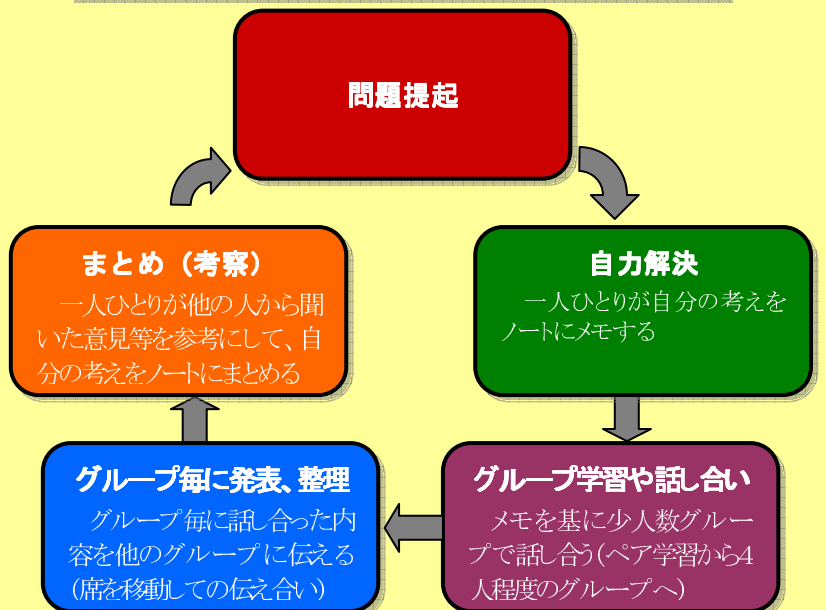
- 一人ひとりが認められる人間関係づくり（学級集団、教師集団）
- 一人ひとりの考えが生かされる授業づくり・学校づくり

学び合いを中心とした授業づくり

- ・一人ひとりに課題を解決する力を育てる。
- ・友だちに説明することで、自分の考えを確かなものにする。
- ・友だちの説明を聞くことで、自分の考えを深める。



学習活動に言語活動を取り入れた授業展開例



# 家庭と連携して学習習慣の定着を図りましょう！

## ～家庭学習を習慣化させましょう～

### 学習定着率が高い児童生徒の傾向

- 一日あたりの学習時間が長い。
- 家で自分で計画を立てて勉強する。
- 家で学校の授業の予習・復習をしている。
- テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強している。

(全国学力・学習状況調査から)

### ○ 家庭学習の方法

授業と家庭での学習をつなぐための一つの手立てとして、学習予定表(学習カード)の利用が考えられます。

#### 【項目の柱立て例】

- \* 自分が学期に達成したいと思っている大きな目標
- \* 大きな目標を達成するために小さな目標
- \* その日に取り組む具体的な学習内容と要した時間
- \* 成果の記入欄
- \* 1週間の反省や計画以外に取り組んだ新しい課題が記入できる欄等

普段1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(月～金)

小学校	1	2	3	4	5	6
神奈川県(公立)	18.1	13.7	24.4	23.5	15.0	5.2
全国(公立)	11.4	14.3	32.5	26.5	11.3	3.9

1:3時間以上 2:2時間以上,3時間より少ない 3:1時間以上,2時間より少ない 4:30分以上,1時間より少ない 5:30分より少ない 6:全くしない

中学校	1	2	3	4	5	6
神奈川県(公立)	15.6	29.7	24.8	12.6	8.9	8.3
全国(公立)	10.2	25.5	30.5	16.7	9.8	7.1

1:4時間以上 2:3時間以上,4時間より少ない 3:2時間以上,3時間より少ない 4:1時間以上,2時間より少ない 5:1時間より少ない 6:全くしない

(平成22年度 全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙より)

# 学校と地域の連携を進めましょう！

### 地域から学校へ

#### \* 学校行事や地域行事に参加しましょう。

- ・ 体育祭、運動会、文化祭など、子どもたちとの触れ合いが、子どもたちの健全な成長につながります。

#### \* 学校が求めているボランティア活動

- ・ 学校が求めている地域の教育力を生かしましょう。

(例)「学習サポート」のボランティアでは、放課後や土・日曜日、長期休業中に学習支援を行っています。

### 学校から地域へ

- \* 学習指導要領では、「伝統や文化に関する教育の充実」「体験活動の充実」などが挙げられ、子どもたちの地域での活動がより活発に行われます。
- ・ 地域に伝わる伝統文化を通して伝承者の方々と交流し、そこで学習した成果を地域の方々に発信しています。

### PTAや地域の人による学校の諸活動のボランティア

- ① よく行った
- ② どちらかといえば行った
- ③ あまり行っていない
- ④ 全く行っていない

#### 平成21年度

選択肢	1	2	3	4
神奈川県 (%)	54.1	41.6	4.2	0.1
全国 (%)	54.8	41.5	3.4	0.2

#### 小学校

#### 中学校

1	2	3	4
54.5	39.0	5.7	0.2
46.4	46.1	6.5	0.7

#### 平成22年度

選択肢	1	2	3	4
神奈川県 (%)	57.7	38.8	3.5	0.0
全国 (%)	56.9	40.0	2.9	0.1

1	2	3	4
51.8	46.7	1.5	0.0
47.5	46.0	5.9	0.5

神奈川県では、ボランティア等による授業サポートが熱心に行われています。

# 学習指導要領全面実施に当たって

平成 23 年度から小学校で、平成 24 年度から中学校で学習指導要領が全面実施されます。

## 「生きる力」の理念を共有しましょう

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」が「生きる力」を支えます。

### 学校・家庭・地域の連携・協力について

子どもたちの「生きる力」を育むためには、学校・家庭・地域が相互に連携しつつ、社会全体で取り組むことが不可欠です。

### 新しい学習指導要領は

「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視しています。

### 家庭で育む「生きる力」 ～家庭教育は全ての教育の出発点～

- ・ 基本的な生活習慣
- ・ 自立心の育成
- ・ 心身の調和のとれた発達
- ・ 「おはよう」「ただいま」「おやすみ」などのあいさつ
- ・ 学校での出来事について話し合う
- ・ 早寝、早起き、朝御飯
- ・ お手伝いの習慣 など

### 地域などの連携により育む「生きる力」 ～地域ぐるみで取り組む環境づくり～

- ・ 学習の支援、読み聞かせ
- ・ 部活動の支援
- ・ 学校行事の支援
- ・ 環境整備（花壇の手入れ、図書室の整備など）
- ・ 安全パトロール など

## 学習評価で学習状況を把握しましょう

学習評価は、児童生徒にとって、自らの学習状況に気付き、その後の学習や発達・成長に生かされるものです。学校では、授業や指導方法の改善に生かされるものとなっています。家庭では、子どもの学習状況に合わせた学習習慣を身に付けさせていきましょう。

### 学校においては

学校として組織的・計画的に取り組み、校内研修会等を充実させるなど、妥当性・信頼性を確保することが大切です。

その際、指導と評価のより一層の推進を図るため、PDCA サイクル（右図）を確立することが重要です。

### 家庭においては

目標に準拠した評価についての理解を進め、子どもの学習状況の成果や課題を踏まえた家庭学習を促すなど、学習習慣の確立を支援しましょう。

目標に準拠した評価とは、学習指導要領にある各教科等の目標がどれだけ実現しているかを観点別に分析的にとらえる評価です。

